



平成 29 年 8 月 8 日

各 位

上場会社名 セメダイン株式会社
代表者名 代表取締役社長 岡部 貫
(コード：4999、東証第2部)
問合せ先 取締役管理本部長 栢野 宣昭
(TEL. 03-6421-7411)

**連結子会社の吸収合併（簡易合併・略式合併）及び債権放棄に伴う
特別損失の発生に関するお知らせ**

当社は、平成 29 年 8 月 8 日開催の取締役会において、連結子会社であるセメダインオートモーティブ株式会社（以下、「セメダインオートモーティブ」といいます。）を吸収合併すること（以下、「本合併」といいます。）及び当社の同社に対する債権の放棄とそれに伴う特別損失の計上を決議いたしましたので、お知らせいたします。

なお、本合併は 100%出資の連結子会社を対象とする簡易合併・略式合併であるため、開示事項・内容を一部省略しております。

記

1. 本合併の目的

当社は、自動車関連製品の開発・生産等のシナジー効果の強化を目的として、平成 23 年 12 月 15 日にセメダインオートモーティブ（当時の社名はセメダインヘンケル株式会社）の発行済株式の 51%を Henkel AG & Co. KGaA（ヘンケル社）より取得し、セメダインオートモーティブを当社の完全子会社としました。その上で、今回、当社グループにおける自動車関連事業と他の事業とのシナジー効果の一層の強化と意思決定の迅速化を目的として、本合併を決定いたしました。

2. 本合併の要旨

(1) 本合併の日程

合併に係る取締役会決議日	平成 29 年 8 月 8 日
合併契約締結日	平成 29 年 8 月 8 日
連結子会社に対する債権放棄に係る取締役会決議日	平成 29 年 8 月 8 日
合併期日（効力発生日）	平成 29 年 10 月 1 日（予定）

※本合併は、当社においては会社法第 796 条第 2 項に定める簡易合併、セメダインオートモーティブにおいては会社法第 784 条第 1 項に定める略式合併に該当するため、それぞれの合併契約に関する株主総会を開催いたしません。

(2) 本合併の方式

当社を存続会社とする吸収合併方式で、セメダインオートモーティブは解散いたします。なお、セメダインオートモーティブは債務超過となっておりますが、合併に先立ち当社が同社に対して有する債権を放棄し、債務超過状態を解消した後合併する予定です。

放棄する債権の種類： 貸付金

上記債権の金額： 3.5 億円（見込み）

(3) 本合併に係る割当ての内容

当社はセメダインオートモーティブの発行済全株式を所有しているため、本合併に際して株式その他の金銭等の交付は行いません。

(4) 本合併に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

3. 本合併の当事会社の概要

	吸収合併存続会社 (平成 29 年 3 月 31 日現在)	吸収合併消滅会社 (平成 28 年 12 月 31 日現在)
(1) 名称	セメダイン株式会社	セメダインオートモーティブ株式会社
(2) 所在地	東京都品川区大崎一丁目 11 番 2 号 ゲートシティ 大崎イーストタワー	東京都品川区大崎一丁目 11 番 2 号 ゲートシティ大崎 イーストタワー
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 岡部 貫	代表取締役社長 西下 邦彦
(4) 事業内容	接着剤、シーリング材、 特殊塗料、粘着テープ等 の製造販売	自動車事業における接着剤 類およびその加工品の開 発、製造、販売
(5) 資本金	3,050,375 千円	400,000 千円
(6) 設立年月日	昭和 23 年 4 月 22 日	平成 11 年 10 月 5 日
(7) 発行済株式数	15,167,000 株	8,000 株
(8) 決算期	3 月 31 日	12 月 31 日
(9) 大株主及び持株比率	株式会社カネカ 52.06% セメダイン共栄会 9.62%	セメダイン株式会社 100%

(10) 直前事業年度の経営成績および財政状態		
	平成 29 年 3 月期 (連結)	平成 28 年 12 月期 (単体)
純資産	10,479 百万円	△349 百万円
総資産	21,317 百万円	1,752 百万円
1 株当たり純資産	675.21 円	△43,657.66 円
売上高	26,493 百万円	2,851 百万円
営業利益	723 百万円	135 百万円
経常利益	606 百万円	164 百万円
親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純損失 (△)	25 百万円	△596 百万円
1 株当たり当期純利益又は当期純損失 (△)	1.70 円	△74,569.13 円

4. 本合併後の状況

本合併による当社の名称、所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金、決算期の変更はございません。

5. 今後の見通し

上記 2 (2) に記載のある債権放棄に伴い、個別決算において関係会社債権放棄損 350 百万円 (見込み) を特別損失に計上いたします。

なお、当該関係会社債権放棄損については、連結決算においては相殺消去されるため、本合併による連結業績への影響は軽微であります。

また、平成 30 年 3 月期の連結業績見通しについては、本日開示いたしました「業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

以 上